平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名　理研コランダム株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5395　URL　http://www.rikencorundum.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 坂爪　康一
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 杉浦　順　TEL 048-596-4411

四半期報告書提出予定日　平成25年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	3,380	△4.2	70	133.9	135	48.8	96	21.9
24年12月期第3四半期	3,528	△30.4	30	△86.1	90	△65.3	79	△48.4

(注)包括利益　25年12月期第3四半期　301百万円　(211.4%)　24年12月期第3四半期　97百万円　(12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	10.35	―
24年12月期第3四半期	8.49	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	6,018	4,163	69.2
24年12月期	5,820	3,918	67.3

(参考) 自己資本　25年12月期第3四半期　4,163百万円　24年12月期　3,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	3.00	―	3.00	6.00
25年12月期	―	3.00	―		
25年12月期(予想)				3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,750	1.2	133	335.3	213	68.1	138	45.8	14.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	10,000,000 株	24年12月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	708,919 株	24年12月期	707,937 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	9,291,417 株	24年12月期3Q	9,293,393 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・経済政策の効果等から、大企業を中心とした企業収益の改善や非製造業の設備投資の持ち直し等、穏やかに回復しつつあるものの、円安による輸入原材料価格の上昇や海外景気の下振れ懸念等から、実体経済が回復したと感じるまでには至っておりません。

このような状況下、当社グループの売上高については、鉄鋼、金属加工業界向けに復調の兆しが見られるものの、下げ止まり傾向のまま推移いたしました。

一方、利益面においては、効率化の一層の推進やセールスミックス等により事業採算性の向上を図り、増益となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高3,379,613千円（前年同期比4.2%減）、営業利益70,411千円（前年同期比133.9%増）、経常利益134,611千円（前年同期比48.8%増）となり、また四半期純利益は96,121千円（前年同期比21.9%増）となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

（研磨布紙等製造販売事業）

数年前までの牽引役であった国内ソーラ加工業界向けについては世界的な資材供給競争の激化による低迷状態が継続していること、新興国需要が伸び悩んだことにより、厳しい受注環境が継続いたしました。

この結果、売上高は2,740,059千円（前年同期比3.2%減）、営業損失は7,069千円（前年同期の営業損失は29,846千円）となりました。

（ＯＡ器材部材等製造販売事業）

当社グループは、複写機、ＡＴＭ、ファクシミリ、印刷機等の事務機器に組み込まれる紙送り用各種ローラー部品を受注生産しております。

当第３四半期連結累計期間の売上高は、海外向けが新興国の成長鈍化の影響を受け減少したことから、ＯＡ機材部材等製造販売事業全体としても売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は396,554千円（前年同期比12.8%減）となり、営業利益は54,678千円（前年同期比1.0%増）となりました。

（不動産賃貸事業）

株式会社ダイエーに賃貸しております理研神谷ビルの賃貸収入は243,000千円（前年同期と同額）、営業利益は191,300千円（前年同期比1.3%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ197,979千円増加し、6,018,330千円になりました。これは主に、借入金の返済が進んだことにより現預金が84,448千円減少しましたが、円安による為替換算で生じた持分法適用関連会社の持分相当額の増加により関係会社出資金が143,902千円増加したことと時価評価額の増加等により投資有価証券が141,857千円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ47,084千円減少し、1,855,659千円になりました。これは主に、リース資産の取得によりその他に含めているリース債務が37,135千円、投資有価証券の時価評価額の増加等により税効果会計の繰延税金負債が60,231千円、設備支払手形の増加により支払手形及び買掛金が50,909千円増加しましたが、約定返済と償還が進んだことにより借入金および社債が203,190千円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ245,063千円増加し、4,162,671千円になりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年８月２日に公表致しました予想と変更はございません。なお、引き続き情報収集に努め、業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

また、今後も全社一丸となって業容拡大に向け、新製品、新市場の開発等に全力を挙げて取り組んでまいる所存であります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

（ⅰ）棚卸資産の評価方法

当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基盤として合理的な方法により算定する方法によっております。

（ⅱ）繰延税金資産及び繰延税負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	538,666	454,218
受取手形及び売掛金	819,698	814,714
商品及び製品	698,399	746,598
仕掛品	585,129	542,194
原材料及び貯蔵品	206,002	215,561
その他	129,870	119,573
貸倒引当金	△11,188	△11,355
流動資産合計	2,966,576	2,881,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,488,964	3,500,383
減価償却累計額	△2,505,484	△2,550,137
建物及び構築物（純額）	983,480	950,246
機械装置及び運搬具	1,661,503	1,703,289
減価償却累計額	△1,444,228	△1,491,556
機械装置及び運搬具（純額）	217,275	211,733
その他	735,446	800,700
減価償却累計額	△356,202	△376,701
その他（純額）	379,244	423,999
有形固定資産合計	1,579,999	1,585,978
無形固定資産	37,280	36,809
投資その他の資産		
投資有価証券	462,269	604,126
関係会社出資金	733,621	877,523
その他	42,956	51,891
貸倒引当金	△2,350	△19,500
投資その他の資産合計	1,236,496	1,514,040
固定資産合計	2,853,775	3,136,827
資産合計	5,820,351	6,018,330

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	689,182	740,091
短期借入金	60,000	－
1年内償還予定の社債	111,200	111,000
1年内返済予定の長期借入金	304,268	265,908
未払法人税等	－	28,758
賞与引当金	－	31,400
その他	148,703	127,444
流動負債合計	1,313,353	1,304,601
固定負債		
社債	55,400	－
長期借入金	216,830	167,600
繰延税金負債	14,793	75,024
修繕引当金	54,020	56,800
退職給付引当金	60,587	25,395
役員退職慰労引当金	108,738	120,779
長期預り金	50,000	50,000
資産除去債務	8,692	8,824
その他	20,330	46,636
固定負債合計	589,390	551,058
負債合計	1,902,743	1,855,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	98,753	98,753
利益剰余金	3,445,431	3,485,803
自己株式	△134,007	△134,166
株主資本合計	3,910,177	3,950,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,324	83,314
繰延ヘッジ損益	5,338	△1,081
為替換算調整勘定	10,417	130,048
その他の包括利益累計額合計	7,431	212,281
純資産合計	3,917,608	4,162,671
負債純資産合計	5,820,351	6,018,330

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	3,528,418	3,379,613
売上原価	2,679,581	2,519,231
売上総利益	848,837	860,382
販売費及び一般管理費	818,735	789,971
営業利益	30,102	70,411
営業外収益		
受取配当金	14,714	11,445
持分法による投資利益	53,820	52,083
為替差益	516	8,261
助成金収入	6,641	5,469
その他	8,601	6,907
営業外収益合計	84,292	84,165
営業外費用		
支払利息	9,995	7,477
手形売却損	5,534	4,479
売上割引	8,350	7,942
その他	54	67
営業外費用合計	23,933	19,965
経常利益	90,461	134,611
特別利益		
固定資産売却益	279	－
特別利益合計	279	－
特別損失		
固定資産売却損	－	58
固定資産除却損	23	25
特別損失合計	23	83
税金等調整前四半期純利益	90,717	134,528
法人税、住民税及び事業税	19,072	36,095
法人税等調整額	△7,214	2,312
法人税等合計	11,858	38,407
少数株主損益調整前四半期純利益	78,859	96,121
四半期純利益	78,859	96,121

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	78,859	96,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,035	91,639
繰延ヘッジ損益	△2,361	△6,419
為替換算調整勘定	141	12,875
持分法適用会社に対する持分相当額	1,976	106,756
その他の包括利益合計	17,791	204,851
四半期包括利益	96,650	300,972
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,650	300,972
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自 平成24年１月１日 至 平成24年９月30日)
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	研磨布紙等製造販売事業	OA器材部材等製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,830,812	454,606	243,000	3,528,418	－	3,528,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,830,812	454,606	243,000	3,528,418	－	3,528,418
セグメント利益又は損失（△）	△29,846	54,122	188,893	213,169	△183,067	30,102

(注) １．セグメント利益又は損失の調整額△183,067千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間(自 平成25年１月１日 至 平成25年９月30日)
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	研磨布紙等製造販売事業	OA器材部材等製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,740,059	396,554	243,000	3,379,613	－	3,379,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,740,059	396,554	243,000	3,379,613	－	3,379,613
セグメント利益又は損失（△）	△7,069	54,678	191,300	238,909	△168,498	70,411

(注) １．セグメント利益又は損失の調整額△168,498千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。